

シラカシ (ブナ科 コナラ属)



出典：「季節の花 300」

シラカシの特徴

常緑高木で、樹高：10m～20m程度。 主な開花期は4月～5月ごろ。

カシの木の一つで、どんぐりができます。カシ類の中でも耐寒性は最も強くて生長も早く、街路樹や公園樹として広く植えられています。関西ではカシの木というと、アラカシが多い。

昭和47年10月5日にカシの木（総称で特定のものを指していない）が市木に制定されました。

材の色が白っぽいことが名前の由来ですが、樹皮が黒っぽいことからクロカシとも呼ばれる。

昔はヤリの柄（え）にし、今はカンナの台やカナヅチの柄などに利用されます。

アラカシと比べるとシラカシの葉は細長くて薄く、縁は葉の先から2/3あたりまでギザギザになります。どんぐりは長さ1.5cm～2cmほどのタマゴ型で、アラカシに比べて細長くて小ぶりです。

シラカシの育て方

適した場所：日当たりの良い場所が適しています。耐寒性がきわめて強い。若木は水はけのよい砂質土壌が好ましい。

植え付け：植え付けの適期は5月です。遅霜に当たると細い枝が枯れてしまう恐れがあるので、充分暖かくなってから行うことが大切です。

肥料・病気：肥料は特に要りません。病害虫に強い。（まれにうどん粉病）

手入れ：ほぼ放任で自然樹形を楽しめます。刈込に強く、美観を保つにはマメに刈り込むとよい。刈り込みの適期は11月か新枝が伸びる直前の4月です。